

1. 件 名：四国電力株式会社伊方発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和5年12月15日（金）10時00分～12時24分

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC会議室

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

反町専門職、嶋崎専門官、澤村専門官、酒井専門職、沼田専門職、五十嵐室員

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ グループリーダー 他9名

【模擬ERC役事業者】

九州電力株式会社

原子力発電本部 安全設計グループ 課長 他2名

5. 要 旨

四国電力株式会社から、令和6年2月2日に予定されている同社伊方発電所における原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的及び達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施体制及び評価体制
- ・ 訓練の項目と内容（防災業務計画の記載との整合）及び評価基準
- ・ 訓練シナリオ

原子力規制庁から、評価者が評価指標の「評価対象の考え方など」に従って適切に評価できるよう、以下についてコメントした。四国電力株式会社からは、本日の面談でのコメントを踏まえ対応する旨の回答があった。

- ・ 「指標2：ERCプラント班との情報共有」に関して、訓練後の面談の際には、ERCリエゾン等の要員の育成・配置計画に関して、社内の意思決定を行ったことを示すエビデンスや、休日・夜間に当番者が速やかに参集できる体制となっていることを示すエビデンスを整理して説明すること。
- ・ 「指標6：シナリオの多様化・難度」に関して、評価プレーヤーへ

難度の高い課題が設定されているか本日の説明では納得しがたいので、難易度の設定については引き続き整理を進めること。

また、原子力規制庁から、今回の訓練は自己評価対象の訓練であり、原子力規制庁の訓練への関与等について今後調整する旨伝えた。

## 6. その他

配布資料：

資料 1 伊方発電所原子力防災訓練計画事前説明に係る面談（5週間前）  
時の確認事項（四国電力株式会社）